３　小学校

[Ⅰ-3-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

ア　学校数は1,027校で、前年度より6校減少している。 [Ⅰ-3-1表]

イ　設置者別では、国立3校(構成比0.3％)、公立1,007校(同98.1％)、私立17校(同1.7％)で、公立で6校減少している。 [Ⅰ-3-1表・統計表13

ウ　市町村別では、大阪市307校、堺市95校、東大阪市53校の順に多く、田尻町1校、忠岡町・太子町・千早赤阪村2校の順に少ない。 [統計表13]

エ　都道府県別では、東京都1,351校、北海道1,106校、大阪府1,027校の順である。[付表-5]

（２）学級数

ア　学級数は1万8,234学級で、前年度より30学級(対前年度0.2％)増加している。

[Ⅰ-3-1表]

イ　設置者別では、国立54学級(構成比0.3％)、公立1万7,942学級(同98.4％)、私立238学級(同1.3％)で、前年度より公立は31学級増加し、私立は1学級減少している。

[Ⅰ-3-1表・統計表13]

ウ　学級編制方式別では、単式学級1万4,504学級(構成比79.5％)、複式学級22学級(同0.1％)、特別支援学級3,708学級(同20.3％)で、前年度より単式学級は193学級、複式学級は5学級減少し、特別支援学級は228学級増加している。 [Ⅰ-3-2表]

エ　市町村別では、大阪市4,819学級、堺市1,795学級、東大阪市968学級の順に多く、千早赤阪村16学級、田尻町23学級、能勢町31学級の順に少ない。

また、前年度と比べると、大阪市36学級、豊中市24学級、枚方市17学級の順に増加し、東大阪市15学級、大東市8学級、門真市・泉佐野市7学級の順に減少している。

[統計表13・付表-7]

[Ⅰ-3-2表] 　 学級編制方式別学級数・児童数



（３）児童数

ア　児童数は44万9,927人で、前年度より5,706人(対前年度△1.3％)減少している。

[Ⅰ-3-1表]

イ　設置者別では、国立1,941人(構成比0.4％)、公立44万1,158人(同98.1％)、私立6,828人(同1.5％)で、前年度より国立は40人、公立は5,375人、私立は291人減少している。

[Ⅰ-2-1表・統計表14]

ウ　学級編制方式別では、単式学級43万2,528人(構成比96.1％)、複式学級185人(同0.0％)、特別支援学級1万7,214人(同3.8％)で、前年度より単式学級は7,174人、複式学級は60人減少し、特別支援学級は1,528人増加している。 [Ⅰ-3-2表]

エ　男女別では、男子23万160人(構成比51.2％)、女子21万9,767人(同48.8％)で、前年度より男子は2,952人、女子は2,754人減少している。 [Ⅰ-3-3表]

オ　市町村別では、大阪市11万7,629人、堺市4万6,795人、東大阪市2万3,984人の順に多く、千早赤阪村226人、能勢町363人、田尻町564人の順に少ない。

また、前年度と比べると豊中市241人、箕面市103人、島本町15人の順に増加し、東大阪市624人、堺市467人、大阪市422人の順に減少している。 [統計表14・付表-7]

カ　都道府県別では、東京都59万2,158人、神奈川県46万6,464人、大阪府44万9,927人の順である。 [付表-5]

キ　１学級当たりの児童数は24.7人で、前年度より0.4人減少している。

　また、市町村別では、熊取町27.3人、吹田市26.4人、忠岡町26.3人の順に多い。

[Ⅰ-3-1表・付表-13]

ク　教員(本務者)１人当たりの児童数は16.4人で、前年度より0.3人減少している。

[Ⅰ-3-1表]

[Ⅰ-3-1図] [Ⅰ-3-3表] 設置者別男女別児童数



学年別児童数の推移



[Ⅰ-3-4表] 　学年別児童数



（４）帰国児童数・外国人児童数

ア　帰国児童数は336人で、前年度間より26人(対前年度間8.4％)増加している。

[Ⅰ-3-5表]

イ　外国人児童数は3,784人で、前年度より36人(対前年度△0.9％)減少している。

[Ⅰ-3-6表]

[Ⅰ-3-5表] 　 帰国児童数 　　 [Ⅰ-3-6表]　外国人児童数



（５）長期欠席者数（平成26年度間）

ア　長期欠席者数は5,801人で、前年度間より195人(対前年度間3.5％)増加している。

[Ⅰ-3-7表]

イ　理由別では、病気2,378人(構成比41.0％)、不登校1,925人(同33.2％)、その他1,497人(同25.8％)で、前年度間より病気は130人、不登校は51人、その他は16人増加している。

[Ⅰ-3-7表]

ウ　長期欠席者数が、全児童数に占める割合は1.27％で、前年度間より0.06ポイント上昇している。全国平均は0.88％で、大阪府が0.40ポイント上回っている。 [Ⅰ-3-7表]

[Ⅰ-3-2図] 理由別長期欠席者数の推移 　　[Ⅰ-3-7表]　 理由別長期欠席者数



（６）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は2万7,436人で、前年度より221人(対前年度0.8％)増加している。

[Ⅰ-3-1表]

イ　設置者別では、国立81人(構成比0.3％)、公立2万6,947人(同98.2％)、私立408人(同1.5％)で、前年度より国立は1人、私立は11人減少し、公立は233人増加している。

[Ⅰ-3-1表・統計表17]

ウ　男女別では、男性1万28人(構成比36.6％)、女性1万7,408人(同63.4％)で、前年度より男性は248人増加し、女性は27人減少している。 [統計表17]